

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」 仁和寺にある法師―「徒然草」  
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		エイ するどーい	チョウ あざけーる	キ	イツ	(カン) たーえる	うら	ヒョウ ただよーう	コウ つな	ボウ ふぎ	シュウ ふね ふな	ジョ (ニョ)	キン わずーか	セン おうぎ	ニン しのーぶ しのーばせる
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		ノ	、	、	ノ	、	、	、	く	一	ノ	一	ノ	一	フ
		⑭ 鋭 い 考 え  ( するど い )	⑬ 失敗を 嘲笑 する (ちようし ょう)	⑫ 騎馬 戦  ( きば )	⑪ 偉人の 逸話  ( いっわ )	⑩ 任に 堪 える  ( た える )	⑨ 浦 沿 いの 歩 道  ( うら )	⑧ 空を 漂 う 雲  ( ただよ う )	⑦ 手 綱 を 握 る  ( たづな )	⑥ 女 房  ( によう ぼう )	⑤ 舟 を 浮 か べ る  ( ふね )	④ 突 如 とし て 雨 が 降 り 出 し た  ( とつじ よ )	③ 僅 か な 手 勢  ( わず か )	② 扇 の 的  ( おう ぎ )	① 恥 を 忍 ぶ  ( しの ぶ )

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」  
教科書に登場する漢字の読み

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましよう。

① 月夜の晩	( )	ばん	( )	①7 過去の情景を思い出す	( )	じょうけい	( )	
② 鐘を鳴らす	( )	かね	( )	①8 故郷へ帰る	( )	こきよう・ふるさと	( )	
③ 頼朝が旗揚げする	( )	はたあ	げ	( )	①9 面を上げる	( )	おもて	
④ 鎌倉を本拠地に定める	( )	ほんきよち	( )	②0 弓を引き絞る	( )	しぼ	る	
⑤ 兵を挙げる	( )	あ	げる	( )	②1 一差し舞う	( )	ま	う
⑥ 城を攻める	( )	せ	める	( )	②2 勝利の歓声	( )	かんせい	( )
⑦ 勢力を伸ばす	( )	せいりよく	( )	②3 職務上の行為	( )	こうい	( )	
⑧ 日暮れを迎える	( )	むか	える	( )	②4 群衆を制止する	( )	せいし	( )
⑨ 手招きする	( )	てまね	き	( )	②5 高価な品物	( )	こうか	( )
⑩ 標的を射る	( )	い	る	( )	②6 欠点を非難する	( )	ひなん	( )
⑪ 出場を辞退する	( )	じたい	( )	②7 時間が惜しい	( )	お	しい	
⑫ 義経の絶対の命令	( )	ぜったい	( )	②8 敵の意表をつく	( )	てき	( )	
⑬ 事実と相違がある	( )	そうい	( )	②9 命懸けの作業	( )	いのちが	け	
⑭ 風が吹く	( )	ふ	く	③0 妙に静まり返る	( )	みよう	( )	
⑮ 激しい北風	( )	はげ	しい	③1 待ち時間に心が騒ぐ	( )	さわ	ぐ	
⑯ 車が揺れる	( )	ゆ	れる	③2 予防は治療に勝る	( )	まさ	る	

## 月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」

## 仁和寺にある法師―「徒然草」

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 恥を <b>しのぶ</b>	( 忍ぶ )	⑮ 月夜の <b>ばん</b>	( 晩 )
② おうぎの <b>的</b>	( 扇 )	⑯ <b>かね</b> を鳴らす	( 鐘 )
③ <b>わずか</b> な手勢	( 僅か・僅か )	⑰ 頼朝が <b>はたあげ</b> する	( 旗揚げ )
④ <b>とつじよ</b> として <small>雨が降り出した</small>	( 突如 )	⑱ 鎌倉を <b>ほんきよち</b> に定める	( 本拠地 )
⑤ <b>ふね</b> を浮かべる	( 舟 )	⑲ 兵を <b>あげる</b>	( 挙げる )
⑥ <b>にようぼう</b>	( 女房 )	⑳ 城を <b>せめる</b>	( 攻める )
⑦ <b>たづな</b> を握る	( 手綱 )	㉑ <b>せいりよく</b> を伸ばす	( 勢力 )
⑧ 空を <b>ただよう</b> 雲	( 漂う )	㉒ 日暮れを <b>むかえる</b>	( 迎える )
⑨ <b>うら</b> 沿いの歩道	( 浦 )	㉓ <b>てまねき</b> する	( 手招き )
⑩ 任に <b>たえる</b>	( 堪える )	㉔ 標的を <b>いる</b>	( 射る )
⑪ 偉人の <b>いつわ</b>	( 逸話 )	㉕ 出場を <b>じたい</b> する	( 辞退 )
⑫ <b>きば</b> 戦	( 騎馬 )	㉖ 義経の <b>ぜったい</b> の命令	( 絶対 )
⑬ 失敗を <b>ちようしよう</b> する(嘲笑・嘲笑)	( 嘲笑・嘲笑 )	㉗ 事実と <b>そうい</b> がある	( 相違 )
⑭ <b>するどい</b> 考え	( 鋭い )	㉘ 風が <b>ふく</b>	( 吹く )
		㉙ <b>はげしい</b> 北風	( 激しい )
		㉚ 車が <b>ゆれる</b>	( 揺れる )

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」  
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

①過去のじょうけい <small>を</small> <small>思い出す</small>	情景	□声をしのばせる	(忍ばせる)
②こきようへ帰る	故郷	□せんふうき	(扇風機)
③おもて <small>を上げる</small>	面	□きんさで勝つ	(僅差)
④弓を引きしぼる	絞る	□だんぼう <small>器具</small>	(暖房)
⑤一差しまう	舞う	□ひとふさ <small>のぶどう</small>	(一房)
⑥勝利のかんせい	歓声	□つな引き	(綱)
⑦職務上のこうい	行為	□布をひようはくする	(漂白)
⑧群衆をせいしする	制止	□気品がただよう	(漂う)
⑨こうかな品物	高価	□聞くにたえない	(堪えない)
⑩欠点をひなんする	非難	□ひとをあざける	(嘲る・嘲る)
⑪時間がおしい	惜しい	□目つきがするどい	(鋭い)
⑫てきの意表をつく	敵	□しんしんきえい <small>(新進気鋭)</small>	(新進気鋭)
⑬いのちがけの作業	命懸け		
⑭みように静まり返る	妙		
⑮待ち時間に心がさわぐ	騒ぐ		
⑯予防は治療にまさる	勝る		